

## 綱領

われわれ JAYCEE は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇氣と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

# JCI 福島JCニュース

FUKUSHIMA  
JUNIOR CHAMBER  
OF COMMERCE

—福島青年会議所新聞—

福島青年会議所新聞

## WEB版 Vol.507

発行責任者 今野 陽介  
編集責任者 伊藤 大地  
発行日：2018年7月

## 第31回 わんぱく相撲

5.12 [土] 6.24 [日]



2018年5月12日 福島市十六沼体育館にて第31回 わんぱく相撲福島場所が開催されました。主催は福島JC、福島県北相撲協会となっております。勝ち抜いた選手は県大会、更に勝ち抜くと両国国技館にて行われる、全国わんぱく相撲大会に進める大会となっております。

結果、丹治君が全勝優勝となりました。6月24日ブロック大会(県大会)が原町にて開催されます！

2018年6月24日(日)南相馬市にて、わんぱく相撲福島ブロック大会が開催されました。50名近くのジュニア力士が集まり、今年も盛大に開催となり、白熱した取り組みが行われました。

このブロック大会の上位者は、両国国技館で

行われる全国大会に出場となります。

結果は、福島市から出場した丹治純くんが優勝しました。



15せ

選手名	対戦相手	丹治	関下颯	鈴木奨	遠藤来輝	関下爽夏	笹山幸人	勝点	順位	延長戦
丹治純		○	○	○	○	○	○	5勝	1	
関下颯	×		○	○	×	○		3勝	3	
鈴木奨	×	×		×	×	○		1勝	5	○
遠藤来輝	×	×	○		×	×		1勝	4	○
関下爽夏	×	○	○	○		○		4勝	2	
笹山幸人	×	×	×	○	×			1勝	6	×





# 第6回 信夫山パークランニングレース 5.27 [日]



2018年5月27日(日)、日曜日、「第6回パークランニングレース～信夫山を桃色に染めよう～」を開催致しました。本年も天候に恵まれ、1,200名を超える登録をいただき、新緑の信夫山を爽やかに駆け抜けていただきました。

本事業は、参加者の方が福島市のソーシャルストックである信夫山の持つ歴史、伝統、自然の魅力を感じ、故郷に誇りを持つこと及び福島の素晴らしさを感じてもらうこと。さらに、信夫山を緑豊かな自然溢れる山という観光資源としての価値を高めることを目的に開催致しました。本年は、昨年と同様福島県護国神社をスタート・ゴールとする10km・5km・3km・3kmペアの他に「名所散策コース」を設定しました。名所散策コースは、岩谷観音などの名所をガイドと一緒にゆっくり歩き、信夫山の魅力を感じてもらえるように設定しました。走るのが難しい方やご高齢の方、幼稚園児など今までパークランニングレースに参加していなかった層を中心に126名の方に参加していただきました。その他のコースでは10kmコースには484名、5kmコースには210名、3kmコースには190名、3kmペアコースには130組260名に参加していただきました。毎年参加者が増えている10km男子コースでは年齢別表彰を導入し、39歳以下・40歳代・50歳以上でそれぞれ3位までを表彰しました。また、木幡浩福島市長、ミス・ユニバース・ジャパン2017福島代表小林愛氏をお招きし、大会を盛り上げていただきました。木幡浩福島市長には3kmコースにランナーとしてもご参加いただきました。年々参加者も増え、遠くは北海道からの参加



者もおり、回数を重ねるにつれてパークランニングレースの認知度が上がっているの感じます。

参加者の方には大会記念のTシャツと食ブースで使用できる400円分の食券、名所散策コースの方へは食券の代わりにオリジナル弁当を参加賞としてお渡ししました。食ブースは信夫山太子堂公園に展開し、福島産の食材をふんだんに使用したお弁当屋や総菜、スイーツが提供されました。昨年に引き続き円盤餃子も提供し、レース参加者や応援に来た方に大変好評でした。開会式やレース後には川俣の山木屋太鼓の勇壮な演奏も行われ、参加者の皆様には信夫山だけでなく、福島の魅力存分に味わっていただけたものと思います。

レース後は、第69回全国植樹祭「森林とのきずなづくり植樹リレー」を実施し、駒山公園へソメイヨシノの植樹を行いました。第1回大会から信夫山を桃色に染めるべくソメイヨシノの植樹を続けて参りました。本年もソメイヨシノ、シバザクラを植樹しました。さらに本年は一般財団法人ふくしま未来研究会様にご協力いただき、御神坂の道沿いにも植樹を実施しました。新たな信夫山の名所誕生のきっかけになれば非常に嬉しく思います。

レース後のアンケートでは、89.4%の方が本事業に満足し、97.6%の方が継続開催を望んでいるという結果でした。また、98.6%の方が信夫山の魅力を感じることができたと回答し、今回参加の福島市民のうち97.1%の方が、本事業を通して福島市への故郷愛を感じることができたと回答しています。本事業を通じて多くの方に信夫山の魅力を感じてもらい、福島の素晴らしさを感じてもらえたことは嬉しい限りです。

最後になりますが、本事業はご協賛いただいた企業様、ボランティアの皆様、メンバーの皆様、信夫山を想う関係者の皆様のご協力があったからこそできた事業です。担当委員会を代表致しまして心より御礼申し上げます。今後も郷土愛に溢れ、躍動出来るまち「福島」を実現するために尽力していきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。







出張わらじ作り事業に参加された子ども達は真剣な表情でわらじの制作に取り組んでいました。また、完成したわらじを履いて大きな声で「わっしょい」と掛け声をかけながら小わらじを担ぐ様子を見て、福島を代表するまつりである「わらじまつり」を肌で感じ、わらじ文化をより深く体験できたものと思います。各小学校から感謝の手紙を頂戴し、この事業の素晴らしさを実感することが出来ましたし、学校側から毎年授業の一環として取り入れたいとの声もあり、地域にとっての必要性も感じる事が出来ました。今回多くのメンバーに講師としてご協力頂き、事業を大成功に導くことが出来ました。ありがとうございました。







## ■ 55周年記念式典

記念式典では来賓者を含め274名のご参加を賜り、福島青年会議所を支えていただいた方々に式典全体を通して、感謝を伝えることが出来ました。今野陽介理事長より今後のビジョン、次の年代に向けての熱い意志・感謝の想いを伝えていただき、感謝状贈呈では会津JC、南投JC、さらには50代から54代の歴代理事長に対して感謝状をお渡しすることが出来ました。



## ■ 55周年記念事業

今回の記念事業は、我々福島青年会議所メンバーが常日頃JC活動を行う事を支えていただいている、家族、会社の社員の皆様への感謝報恩を伝え、新たな一步を未来へとつなげるべく開催されました。エキシビジョンとしてJC活動のパネル展示、小わらじ担ぎ記念写真、金のわらじ作り体験、ケーキクラフト、福島ランチブース、音楽芸人こまつ氏による演奏、似顔絵師カリカチュアジャパンによる無料似顔絵体験など様々な催しものを準備しました。当日は289名(南投JC28人含む)の皆様にご参加いただき、大好評となりました。

